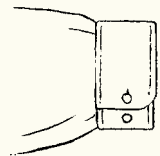


02 カフス

CUFFUS

袖からのぞき見える こだわりのディテール

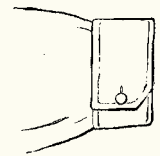
ジャケットからのぞく袖の形によって相手へ与える印象も想像以上に変わる。シャツの着こなしをワンランク高いステージへ導くには、手元から垣間見えるこだわりのディテールもまた重要な要素。



ADJUSTABLE

機能性をも視野に入れた便利な意匠

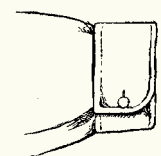
シングルカフスの一種だが、袖口を調節できる特徴をもつ。ボタンが2個横並びで取り付けられ、長めの袖ゆきでも、内側のボタンを留め寸法を整えることで微調整が可能。アクティブなシャツスタイルにすめたい。



CUTOFF

シャープな見栄えが伝えるスマートさがカギ

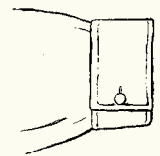
カフスの角がスラントカットされたソリッドな形状。その出で立ちから、よりスマートな雰囲気を作り出せる。モードやキレイめなど、スタイリッシュなコーディネートに合わせるシャツのカフスとして真っ先に選びたい。



ROUND

手元から柔和な印象を振りまくビジネスの軸

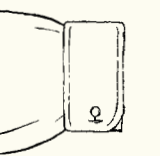
先端を丸く加工したもので、柔らかなイメージを相手に与えられる。一般的にビジネスシャツで用いられることが多いものの、カーブの大きさによってはカジュアル向けにも活用できるため、その振り幅の広さも魅力だ。



SINGLE (SQUARE)

安定感抜群な王道の中の王道カフス

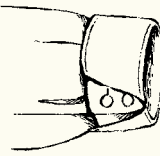
片方のボタンで留めるタイプで、最近ではどのシャツにもよく見られるベーシック型。基本的にはテイストの選り好みなどがどのスタイルにもハマる汎用性を備え、ビジネスからカジュアルまで、様々なシーンに対応できる。



CONVERTIBLE

2種類の留め方で楽しめる便利カフス

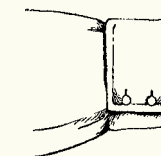
両方にボタン穴があり、片方にボタンを付けられた異彩を放つ形状。ボタンで留めてタウンユースに、カフリンクスで留めてラグジュ感をほめかしてと、ふたつのカフスタイルを楽しめる使い勝手のいいカフスだ。



TURN UP

エレガントな手元をナチュラルに創出

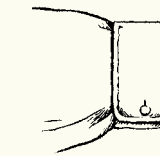
ダブルが袖を折り返した上からボタンで留めるのに対し、ボタンを留めた上から折り返すのがこれ。別名ターンバックカフスともいう。華麗な手元を演出でき、グッと大人っぽい雰囲気を作るのでフォーマルな場には最適。



DOUBLE BUTTONED

さり気なくのせられる高級感ときっちり感

カッチリとした印象を打ち出せそこはかたく高級感もアピールできる。トラッドやアイビー、さらにはジャケットにチノズといった大人カジュアルをスタイリングするうえで、もっともフィットしやすいカフスといえる。



DOUBLE

よりファッション性を伴ったこだわり袖

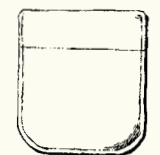
先端の生地を折り返して二重にしたタイプで、ボタンを留めることにより立体的な表情を作り出せる。ボタンがないバージョンもあり、その場合はカフリンクスを使って留めれば、さらにエレガントな面持ちにシフト可能。

03 ポケット

POCKET

機能とスタイルで選ぶ胸元の象徴

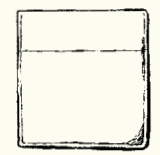
2ピースが一般的となつて以降ベストポケットの代わりとして作られたシャツポケット。今では利便性を考慮したディテールとして、また個性を発揮するデザインとしても欠かせない存在。



ROUND

嫌みなく表現できる優しい表情がキモ

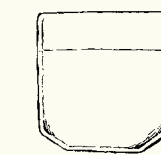
丸みを帯びた形状がこの上なく柔らかな見栄え。シャンブレーシャツやチェックシャツなど、シーンで多用される定番シャツへもあしらわれており、アメカジやワークスタイルにおいてもそのフォルムははかり有効だ。



SQUARE

正統派が伝えるクラシカルな空気感

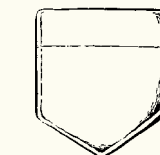
シンプルな正統派型により、カッチリとした雰囲気を漂わせるのがこのポケット。ゆえに、ビジネスやフォーマルの場では使えるディテール。カジュアルの場でもセットアップスタイルのインナーシャツに活用させたい。



CUTOFF

使い勝手も考慮したモダンなたたずまい

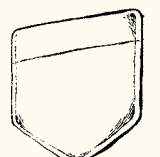
下部の角を削ったこの形状は、モノを入れたとしても無駄なスペースをうまず存分に活用可能。そのフォルムからモダンさとラフさを胸元から好演できる、まさに質実剛健な意匠がカジュアルスタイルには格好のポケット。



PENTAGON (REGULAR)

スタンダードなシャツポケットはこの五角形

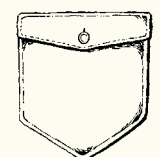
その名の通り、下部が逆山型になった五角形ポケット。シャツポケットのスタンダード型として多彩なアイテムに施されている。形状からモダンさやシャープなイメージを伝えられるなど、装飾としてのニュアンスも持ち合わせる。



SLANT

個性派をアピールできる斬新ディテール

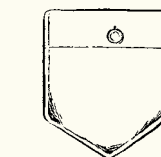
斜めに付けられたポケットの総称。デザイン性を重視したフォルムで、シャツの一枚使いでも十分に存在感を発揮できる。また、ポケットが付けられた方は逆の手が入れやすいといったさり気ない利便性も見逃せない。



B.D.

デザインと機能の双方向からアプローチ

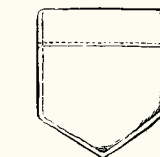
フラップポケットへボタンを取りつけた機能的な作り。さらに、ボタンで遊べるデザイン的な利点もポイントとしてあげられる。ウエスタンシャツなどへ採用されるケースも多く、インナーからの主張としても効果は絶大。



FLAP

アクティブコーデに有益な便利ポケット

垂れぶたが付いたポケットの総称。今では様々なシャツの胸元に付けられているが、もともとアウトドア向けのポケットとしてデザイン。合わせるならアウトドアをはじめ、スポーツやストリートなどアクティブなコーデに。



TURN UP

見栄えと耐久性を視野に入れた意匠

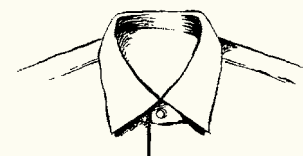
ポケット口を折り返した形が特徴。さり気なさの中にもちょっとした個性を光らせるには適任で、形状を維持する補強の意味合いもある。よりスベ感を印象付けたいなら、カブラ生地を別布であしらったものがオススメ。

01 襟

COLLAR

スタイルを印象付ける シャツの顔となるデザイン

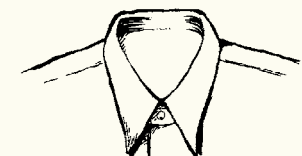
センターに位置し、顔周りに1番近いディテールだからこそカラーは重要度が高い。ゆえに、スタイルへ投入するなら、それぞれのもつ効果や活用法は是非とも押さえておきたい。



WIDE SPREAD

より大人のエスプリを利かせた胸元を演出

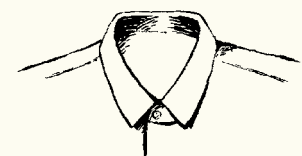
襟先の幅がだいたい100~120°前後とられたカラー。肩幅の広いがっしりとした体型によく合い、通常は英国調のスーツとコーディネートされるケースが多い。胸元を強調できるため、タイトアップには最適なカラーだ。



LONG POINT

クラシックさが香る落ち着いた見栄え

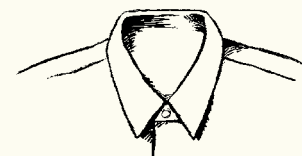
9~10cmの襟の長さに特徴があり、スプレッドはレギュラーとさして変わらないものの、襟が長いだけにやや狭い印象を与える。クラシカルなデザインだけに、胸元へ冷静さが加わりアダルトシックな魅力を振りまける。



SHORT POINT

スポーティな雰囲気を演出してくれるカラー

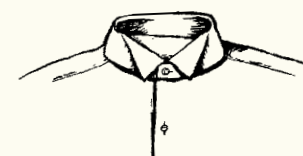
スマールカラーとも呼ばれ、その襟先は6cm以下と短く設定されている。ポロシャツなどにも代表されるように、スポーティでカジュアルなイメージを備えているため、機動性重視のスタイルへいかにカラーといえる。



REGULAR

多彩なシーンで活躍が見込める基本中の基本

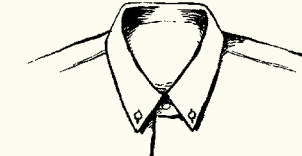
襟先の形、長さ、開き具合などあらゆる部分で基準となるカラー。その抜群な安定感があるからこそ、フォーマルからカジュアルまで様々なシーンに対応できる。また、時代によって定番の定義に動きがあることも覚えておきたい。



WING

フォーマルな場では欠かせない襟型

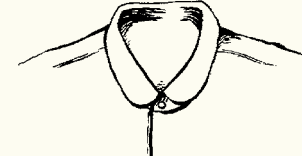
まるで鳥が翼を広げたような特異な形が特徴。テイルコートからタキシードまで、様々なドレスアイテムにフィットし、アスコットタイを合わせてフォーマルに着こなしてもオープンさせてラフに着崩しても様になる。



B.D.

アメリカントラッドの定番的フォルム

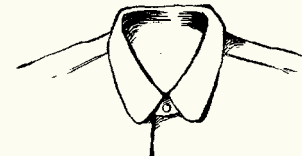
カジュアルな趣がアイビーリーガーの目にとまり一躍米国における代表的スタイルを確立。以降アメトラのアイコン的ポジションを担ってフォーマルに着こなしてもオープンさせてラフに着崩しても非常に効果的。



SHAWL

リラックス感を誘発する個性派襟のひとつ

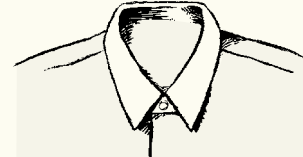
へちま襟と言われ、肩にショールを掛けたような出で立ちからこう呼ばれる。タキシードやドレッシングガウンに採用されていたが、最近ではカウチンの特徴的意匠としても知られ、ヌケ感を表現するうえでも非常に効果的。



ROUND

エレガントな雰囲気とユニークな表情が使える

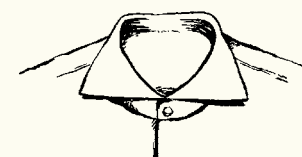
パーティー仕様のエレガントなシャツに用いられるカラーとして有名。それでも、うさぎや犬の耳に形状が似ていることからラビットカラーやドッグイヤーカラーと呼ばれ、カジュアルにもしっくりアジャストしてくれる。



CLERICAL

カラーセパレートが小洒落た印象を生む

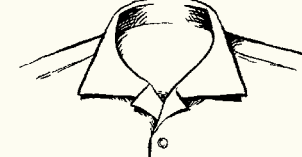
白無地の襟、色無地の身頃の2段構成で、カジュアル志向のジャケットスタイルにはうってつけ。1920年代のロンドン紳士たちの間で大流行していた襟だけに、英国寄りのクラシカルなイメージをブレゼンするにもいい。



HORIZONTAL

カジュアルシャツの代表的なカラーモデル

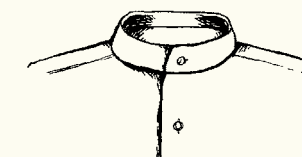
襟の開き具合がほぼ水平になっている型。そのオープンなシルエットは、適度な品を備えながらもハズシのニュアンスでシャツを取り入れる際には最適。ギンガムチェックやストライプといった、デザインもので取り入れたい。



OPEN

夏らしさを伝えられるリゾートライクな風貌

もとよりタイとの組み合わせを視野に入れない、襟足のないカラーのため、肩肘張らずにジャケットを着こなすには格好。また、涼感のとれる構造だからリラックス感たっぷりのリゾートスタイルにもぴったりハマる。



STAND

洗練された印象を与えるシャツの原型

立襟ともいわれ、襟羽根のつかない台襟だけのシャツをいう。シャツの原型ともいわれるノスタルジックな雰囲気だが、ノータイで着られるので首元をすっきりと魅せることが可能。ブルゾンやジャケットとの相性もいい。